

町内5学園 小中一貫教育本格実施！ 計画第2期最終年

小中一貫・CS 通信

NO.15 R2.6.30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

全国に出されていた非常事態宣言が5月26日に解除され、少しずつ新しい日常生活に向け歩みだしました。5月18日から始まった分散登校も無事乗り切り、6月1日からの学校再開へと漕ぎつけました。足踏みしていた小中一貫教育の取組も少しずつ歩みを開始しました。計画を組み直すための工夫や不測の事態への対応など、まだまだ気を配ることが多いのですが、学校再開の喜びをもってがんばり抜きたいものです。今月号も、引き続き各学園の動きを紹介します。

具体的な活動へ いよいよ始動！ まくべつ学園

まくべつ学園では、6月4日に役員会が開かれ、5月開催の三役会で検討された今年度の体制や年間事業計画が正式に決定されました。同日、第1回特別支援委員会も開かれ、18日には第1回学習部会、22日に第1回生活部会、23日に第1回地域連携委員会が相次いで開かれ、詳細な計画が立てられました。いよいよ具体的な活動への第1歩を踏み出しました。このあと、7月9日の三役会、13日の役員会で詳細計画について確認・決定し、今年度の学園活動を始動させることにしています。



計画の概要は、小中の学力分析や乗り入れ授業の充実、中学校登校と交流学习、学習規律の統一（学習部会）、合同生徒指導交流会や防犯・防災教育の推進、運動の日常化の取組（生活部会）、地域活用データベースの運用、ふるさと教育・キャリア教育に関わる提案（地域連携委員会）、小中合同特別支援教育学習会・研修会（特別支援委員会）となっており、昨年来の活動の充実に加えて、新たな取組も計画されています。コロナ禍の中でも、できることを考え進めようとしているまくべつ学園の動きは注目に値します。

経営方針をより焦点化 糠内学園経営会議開催！ 6/4

糠内学園では、6月4日に学園経営会議を開き、今年度の方針や組織体制について協議しました。昨年度末に承認された経営方針をより取り組みやすくアップデートし、何をすればいいか、どの指標で検証するかを明確にさせています。また、コロナ禍の影響で遅れた活動計画の見直しを行い、新たなロードマップを作成しました。経営会議を毎月開催することや全体会、部会、研修会の開催時期、運営協議会の大まかな日程も組み込み、活動の流れが一目でわかるようになっています。

これらのことを紙面会議での第1回全体会を通じて確認し、7月には部会所属も決定し具体的な活動を開始することにしています。

さつない学園 1学期の活動はこれ！

各部の学校代表が決まったことを受け、学園各部長から各学校のそれぞれの部へ活動計画と実施予定案を送付して意見集約を行う形で、今年度の活動内容を大まかに決定しました。

1学期中に行う予定となっている活動は、以下の通りです。

まなび部・・・学習五箇条の提示（7月）

こころ部・・・生活のきまり内容確認（1学期中） 小中合同あいさつ運動 6/26, 7/21

今年度の教職員研修会・交流会や教育実践交流会については、7月開催予定のさつない学園会議で検討することになっています。また、今年度の検討事項として、学園内会議日の設定と各校日課の調整、学校運営協議会・地域学校協働本部の在り方の検討、小中一貫カリキュラム（音楽）の作成、札中生十の誓いの学園全体での取組、支援の必要な子への学園全体での関わり等々が挙げられています。

合唱を軸に学園を作ってきたさつない学園は、コロナ禍の中活動の制約を大きく受けることになりましたが、できることを一つずつ確実にやろうと歩みを進めています。

2学期早々からの活動再開へ向け、準備着々！ 札内東学園

1学期中に三役会議（3校の管理職）と役員会を開催し、2学期早々に部会を開催する予定にしています。事務局レベルで協議した結果、学園の地域学習部でキャリアパスポートを作成することにしました。現在、各校でキャリアパスポートの形式について検討中となっています。2学期の部会以降に学園で統一したキャリアパスポートを作成する予定です。

Zoomを使って活動報告！ ちゅうるい学園 6/29

6月29日、ちゅうるい学園の活動について、テレビ会議システムを使って教育委員の方々に説明・報告する機会がもたれました。当初、教育委員の学校訪問で忠類小・中二校を訪問する予定でしたが、コロナ禍の影響で学校訪問ができなくなり、その代替措置として企画されたものです。この日は、教育委員会会議の前段の時間に、Zoomを活用して忠類小学校、忠類中学校、教育委員会の三か所をオンラインで結び、仲学園長（忠類小学校長）と三好事務局長（忠類中学校教頭）の二人が報告・説明をし、質問を受けました。

いち早く6年生の中学校登校に取り組み、学園統一の学習のきまりや生活のきまり、小中一貫の教育課程など中1ギャップの緩和に努めてきた成果が子ども達のアンケートにはっきり示されていることなど、小中一貫教育の現時点での到達点が簡潔に報告されました。また、再開後の学校の様子も小中交代で報告され、子ども達が元気に学んでいることやこれからの見通しも説明されました。

教育委員の皆さんは、ちゅうるい学園の取組に感心するとともに、オンラインでの会議のスムーズさにも感心していました。これから、ICTを活用したこういう会議や研修会が増えていくことを予感させる企画となりました。

